

保安力向上センターの取り組み



特定非営利活動法人保安力向上センター会長 **松尾 英喜**
Hideki Matsuo

保安力向上センターは「保安力評価を通して産業界の安全に貢献する」を目的に、2013年に安全工学会内に創設され2018年特定非営利活動法人として独立し、現在正会員25社、賛助会員23社となっています。創設以来会長を務めていただいた伊藤東さんの後任として会長を務めさせていただくことになりました。私自身は長年生産技術、製造、保安に携わってきました。大きな事故も経験し保安の必要性も難しさも感じてきました。保安力向上センターの活動にかかわらせていただいて、微力ですが産業界にお役に立てればと思っています。保安力向上センターはセンターの評価表を利用して自己評価とセンター評価員による第三者評価を行い保安力の弱点、改善点を見出し、安全レベル向上につながる取り組みを行っています。また会員会社の安全情報や活動の共有化により、さらに効果的な活動となるように支援しています。しかし今、製造現場を取り巻く環境は色々なものが大きく変化しています。例えばDXの推進があります。AIやICT技術は現場にも組み込まれてきており今後さらに急速に拡大していくでしょう。またカーボンニュートラルや、サーキュラーエコノミーの対応なくし

て産業の生き残りは厳しくなるでしょう。また人口減少、働き方改革、定年延長など働く環境も変化しています。さらに近年は数十年に一度の規模の台風や大雨の被害も多発しています。安全を支える安全基盤や安全文化にもこれらの環境変化は影響を与えると考えなくてはなりません。安全文化や安全基盤は長年の歴史や取り組みの中で確立されてきたもので、簡単に変えることができるものではありません。しかし環境の変化に応じて適切なものに変えていく取り組みは継続していかなければならないと思っています。さらにこれまでベテランの経験やスキルに頼っていた製造業において大手だけでなく特に中堅、中小の企業において技術伝承が十分に行えず、保安力の低下の懸念は大きなものになっています。中堅・中小も含め製造業の劣化は日本の製造業全体に影響を及ぼす可能性があります。このように現場の保安の課題は新旧様々で、対応は決して容易ではありません。産業界と政府が連携して課題と将来に向けた取り組みを共有化して協力して取り組んでいく必要があります。保安力向上センターがそのパイプ役となればと考えています。広い視点での皆様のご意見とご支援をお願い致します。

公益財団法人総合安全工学研究所 理事・監事

理事長 (代表理事)	田村 昌三	東京大学名誉教授	理事	新井 充	東京大学名誉教授
専務理事 (執行理事)	小川 輝 繁	横浜国立大学名誉教授	理事	高木 伸 夫	(有)システム安全研究所所長
常務理事	福 富 洋 志	横浜国立大学名誉教授	理事	谷 質 生	日油技研工業(株)川越工場長
常務理事	若 倉 正 英	新構造材料技術研究組合 (国研)産業技術総合研究所客員研究員 (特非)保安力向上センター センター長	理事	三宅 淳 巳	横浜国立大学理事・副学長
			理事	安原 洋	東京通信病院病院長
			監事	河野 晴 行	(公社)日本煙火協会専務理事
			監事	田中 保 正	元(一社)日本芳香族工業会専務理事